

第3期

高松市教育振興基本計画



TAKAMATSU EDUCATION PLAN

2024 — 2031

高松市
高松市教育委員会

第3期

高松市教育振興基本計画



はじめに

近年、私たちを取り巻く社会は、急激な少子・超高齢化の進行、持続可能な社会への転換、デジタル技術の進展、社会問題の多様化等、目まぐるしく急速に変化し、教育に関する課題は複雑化・多様化しております。また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、世界的に猛威を振るい、教育活動や教育環境に様々な変化をもたらしました。

このような状況の下、次世代を担う子どもたちが、様々な課題や困難な場面に立ち向かい、未来を切り拓く力を身につけ、たくましく生きていくために、教育が果たす役割はますます重要となっています。

この「第3期高松市教育振興基本計画」は、本市の最上位計画である「第7次高松市総合計画」の教育に関する分野別計画であるとともに、教育に関する総合的な施策の方向性を示す「大綱」として位置付けるものとなっています。策定に当たっては、総合計画に掲げる、本市の目指すべき都市像「人がつどい 未来に躍動する 世界都市・高松」の実現に向けて、子どもの頃から地域の自然や歴史、文化に親しみ、「高松」の魅力を知ることにより、本市に愛着と誇りを持ち、まちづくりに主体的に関わろうとする想いを育ていけるよう、施策の充実を図ったところです。

施策の推進に当たっては、教育を取り巻く社会環境の変化に的確に対応するために、地方公共団体の長として、「高松市総合教育会議」等を通して、教育委員会と意思疎通を図りながら、本市の教育課題等を共有し、より一層、民意を反映した教育行政の推進に努めてまいりたいと考えております。

本計画の策定において、御協力いただきました関係機関の皆様、パブリックコメント等を通して貴重な御意見を賜りました皆様には心からお礼申し上げます。

今後におきましては、本計画の基本理念である「高松を愛し 夢と志を持って 一人ひとりが輝く教育」の実現に向け、学校・家庭・地域及び関係団体と一体となり施策を推進してまいりますので、市民の皆様の一層の御支援・御協力と、積極的な御参画をお願い申し上げます。

令和6年3月

高松市長 大西 秀人

第3期高松市教育振興基本計画の策定に当たって

教育委員会では、平成22年度から「高松市教育振興基本計画」及び「第2期高松市教育振興基本計画」において、「確かな学力と豊かな心をはぐくみ 夢にむかってたくましく生きる人づくり」を基本理念として、学校・家庭・地域が一体となり、生きる力を育む教育の推進・充実に取り組んでまいりました。

この間、本市の教育は、かつてない変動の時期を迎え、特に、新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、私たちに多くの困難をもたらしましたが、同時に、それに伴うGIGAスクール構想による一人一台端末の実現など、数々の学びの変化ももたらしました。

このような中、本市におきましては、子どもたちの学力や体力・運動能力の状況はおおむね良好に推移している一方で、全国的にも課題となっている不登校や特別な配慮が必要な児童生徒への対応、家庭や地域の教育力の向上などの課題も見られております。

これらの課題に対応し、本市の教育施策を更に積極的に推進するため、この度、「高松を愛し 夢と志を持って 一人ひとりが輝く教育」を新たな基本理念として、令和6年度から13年度までの8年間を計画期間とする「第3期高松市教育振興基本計画」を策定いたしました。

今後、本計画に基づき、本市の現状を踏まえた3つの柱として「ふるさとの未来を支える教育の推進」、「多様な教育ニーズに対応した教育機能の充実」、「学校・家庭・地域の連携・協働の推進」を始め、様々な教育施策に取り組み、特に子どもたちがふるさとへの愛着や誇りを人生の揺るぎない礎とし、自らの良さや可能性に気づき、夢と志を持って未来を見つめ、また、多様な人々との関わりの中で、未来を切り拓く力を育めるよう努めてまいります。

本計画が、これからの本市の教育の進むべき方向を指し示し、高松のシンボルともいえる「赤灯台」のように、教育の未来を照らしていくものとなることを願っております。

今後、学校・家庭・地域、企業、大学や関係機関・団体等と連携し、本計画を推進してまいりますので、市民の皆様には御理解・御協力をお願いいたします。

最後に、本計画の策定に当たりまして、教育振興基本計画策定懇談会委員の皆様を始め、アンケートに御協力いただきました方々、パブリックコメントに御意見をお寄せいただいた方々など、多くの市民、教育関係者の皆様に、心から感謝申し上げます。

令和6年3月

高松市教育委員会

目次 CONTENTS

総論

1	計画策定の趣旨	2
2	計画の位置付け	2
3	計画の期間	2
4	国の動向や社会環境の変化	
	(1) 人口減少の加速と人生100年時代の到来	3
	(2) 持続可能な社会の実現に向けた取組	3
	(3) 多様性に対する意識の高まりや様々な社会問題	3
	(4) 感染症や自然災害への対応	4
	(5) 教育デジタル・トランスフォーメーション(DX)の推進	4
	(6) ウェルビーイングの向上	4
5	第2期計画を踏まえた高松市の現状と課題	
	(1) 児童生徒の学校生活について	5
	(2) 一人一台端末の導入について	7
	(3) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大について	8
	(4) 家庭・地域での教育(生活)について	9
	(5) 本市に望む今後の教育施策について	11
6	高松市の教育の状況	
	(1) 社会の動向	14
	(2) 学校の状況	15
	(3) 子どもの状況	16
	(4) 生涯学習の状況	20
7	基本理念	22
8	基本目標	23
9	施策体系	24



各 論

I 生きる力を育む学校教育の充実

- 1 確かな学力と個性を伸ばす教育の推進 28
- 2 豊かな心と健やかな体を育む教育の推進 32
- 3 ふるさとの未来を支える教育の推進 36

II 安全・安心で魅力ある教育環境の充実

- 1 学校教育環境の整備・充実 40
- 2 多様な教育ニーズに対応した教育機能の充実 42
- 3 教員の資質向上と教育指導体制の充実 46
- 4 安全で安心な教育環境の充実 48

III 家庭・地域とともに育む教育力の向上

- 1 家庭・地域の教育力の向上 50
- 2 学校・家庭・地域の連携・協働の推進 52
- 3 青少年の健全育成の推進 54

IV 生涯にわたり心豊かに学べる環境づくり

- 1 多様な学習機会の充実 56
- 2 生涯学習施設・機能の充実 58

計画の推進

- 1 計画の進行管理 62
- 2 関係部局、関係機関・団体との連携 62

資 料

- 1 指標 64
- 2 高松市教育委員会主要計画等の策定状況 66
- 3 策定経過 67
- 4 設置要綱 68
- 5 用語の解説 72

